

2013年度 後期	リフレクションペーパー
-----------	-------------

学科名	建築・デザイン学科						
科目名	造形材料演習						
科目区分	専門科目	単位数	4	開講時期	2年次後期		
必修・選択の別	建築工学コース/選択科目 建築コース/選択科目 デザインコース/必修						
担当者	松本誠一						
授業の到達目標 (シラバスから)	・木材の性質を理解できる。(D1) ・プラスチックの性質を理解できる。(D1) ・造形材料の加工技術を理解できる。(D1) ・造形材料を加工して制作することができる。(D!)						
日程と内容	第1回 導入講義 第2回 授業の概要・方法と進め方 成績評価の方法 課題1 木材の性質・図面作成・木材の加工1 (切断・研磨) 第3回 木材の加工1・2 (接着) 第4回 木材の加工2・3 (研磨・仕上げ) 第5回 課題2 プラスチックの性質と成形方法 図面作成 プラ加工1 (切断・研磨) 第6回 プラ加工2 (接着) プラ加工3 (研磨) 第7回 課題3 型の図面作成 型作成 第8回 プラ加工1 (注型) 第9回 プラ加工2 (脱径・研磨) 第10回 課題4 真空成型1 第11回 真空成型1 第12回 課題5 デザイン展開 図面作成 第13回 制作 (加工) 第14回 制作 (加工) 第15回 発表 ポートフォリオ提出						
成績評価基準	定期試験			実技			
	臨時試験			部外評価			
	報告書・レポート			プレゼンテーション		20%	
	課題 (作品・ポートフォリオ)	80%		計		100%	
	演習						
授業の到達目標 (シラバスから)	デザインの分野で主として扱う造形材料として木材(板材)・プラスチック(板材・溶剤)を扱った。講義と制作をとおして、それらの性質と加工方法の基本は理解できたものと判断している。						
反省点	モチベーションの低い学生(単位を取ることを目的に受講している学生)は授業の進行についてこれず、結果的に迷惑をこうむる。この授業の単位数が4単位なので、他のコースからの単位不足の学生の受講が多い。かれらの指導方法を検討しなければならない。結局は、課題作品を作成し、ポートフォリオを提出した学生には、出来が悪くても、最低点で単位を出した。						
来年度の計画	今年度と同じ内容で実施する予定。						
授業評価アンケートに対するコメント	授業評価アンケートの設問14のアンケート平均点は8.7.. 授業に対する否定的な意見は次の1点のみ。「先生の話が長くて、作業時間が短くなっていたので、もうちょっと手短かに話してほしい」 ていねいに説明をしたつもりだが、来年度は少し簡潔に説明するように努めたい。						
履修登録者数	25名	定期試験 受験者数		合格者数	24名	合格率	96%